

# 三中だより

令和4年2月28日(月)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和3年度第12号 大田区中央4-12-8

0.167 この数字から連想できることは何でしょうか。すぐに「あれだ」と思いついた人は、なかなか勘が鋭いかもかもしれません。本当は0.1666・・・、分かりましたか。この学期末の時期に、各学年の数学の授業では、資料の活用分野の学習をしています。1年生では資料を整理し、2年生では確率、3年生では標本調査の学習です。そして、2年生の教科書で、この0.1666・・・は登場します。「さいころを投げるとき、1の目が出る確率はどのようにして求めることができるでしょうか。」という問題で、実際にさいころを何千回もふって、1の目の出た回数を調べて全体のうちのどれだけの割合を表したものの、つまり1の目が出る相対度数です。ちなみに、相対度数の求め方やその意味などは1年生で学習しています。そして、この数値は、奇妙な一致をします。何千回も実際にふって実験した数値が、 $\frac{1}{6}$ に一致するので、そして、この $\frac{1}{6}$ は、さいころの目の出方が6通りあり、1の目が出る場合が1通りなので、6通りのうちの1通りと考えることができる、と教科書で説明しています。奇妙な一致というのは、何千回も実験した相対度数と実際にさいころをふる前に考えた確率が一致することです。身近な生活の中で得られた結果が、理論的に考えられた値と一致することは、不思議です。実際にやってみなくても考えれば推測できるということですので、そうした身近な事象を予測できるということで、われわれの生活はずいぶんと思恩をうけています。こうした、不思議だなとか、どうしてだろうという考えは、学習指導要領でいうところの「数学的活動の楽しさやよさを実感し、そ

れらを活用して考えたり判断したりしようとする」ことにつながっていきます。

また、実際にさいころをふるにあたり、われわれは「～の目が出てほしい」と期待します。さいころをふる場面では、たとえば「4の目が出てほしい！」などと考えています。中には、「もう〇回も4の目以外が出たから、4の目が出る確率は高い！」と都合よく解釈することもあります。無心でどの目でもいいと、さいころをふることは想定しづらいものです。しかし、なかなか数学は厳密です。どの目が出ることも同様に確からしいことが前提なのです。どの場合が起こることも同様に確からしいときは、実験によらずに確率を求めることができるのです。そこには都合よく解釈したり、期待を値に反映させることを、厳として拒み、同様に確からしいことという、平等性を貫いています。どれも公平に、意志を介在させない厳密性があります。「ちょっとぐらい、いいじゃない」ということがないので、とっつきにくい感じもあります。半面、「同様に確からしい」という言葉からは、平等の大切さや厳しさ、公平性の確保の重要性なども感じられます。こうした視点は、自分がこれから生きていくうえで大切な、考え方の基盤を成すものにつながっていくと考えます。

さて、学校での授業では、それぞれの教科の内容を通して知識や表現力・思考力などを育てていきます。知識を身につけることはもちろん、それとともに、自分がどう考えたか、どう感じたかということが、とても大切なのです。それは将来にむけて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培っているのです。年間を通して進めてきた学校での教育活動で、こうした視点で振り返り、これからも大切にしていきたいと考えます。

## スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	3/1(火)、3/8(火)、3/15(火)、3/22(火)、3/29(火)
鳥海 真里	3/2(水)、3/9(水)、3/16(水)、3/23(水)
田中 典子	3/4(金)、3/11(金)

※大森三中

相談室直通電話

(3773) 7831

## 3月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
					春季休業日始	修了式(1・2)	大掃除⑤		社会科見学(2)	春分の日			第73回卒業証書授与式		卒業式予行					避難訓練(津波対応)	中央委員会	専門委員会 都立一般分割後期二次入試	卒業遠足(3)(3年給食なし)	安全指導				職業人講話(1)	都立入学手続き	都立一次・前期発表(3年給食カット)

## 「学芸発表会展示の部」をふり返って

2月4日(金)と5日(土)に、学芸発表会展示の部を行いました。校内のホールや食堂などに、生徒の作品を展示し、見学時間を設けて互いに見合いました。学習の成果を見合うことで、一年間の学習をふり返る機会とすることができました。

### 3年1組

学年みんなの作品を見て、個性があふれていて、とてもよかったなと思います。全学年上手すぎておどろきました。最後の展示会でしたが、思い出に残ったものばかりで、思い出に残せてよかったなと思っています。自分がやらなかったものなどもあり、作り方が気になったものもたくさんありました。展示会の時は、「これすごい。」という言葉がたくさん言うほど、すごい作品がたくさんありました。中学生で見るのは、これが最後になってしまうけれど、3年間見ることができてよかったなと思いました。

### 3年1組

展示では、さまざまな人のアイデアや表現があって、自分の考え方が成長する機会だと、改めて感じました。学年関係なく、完成度が高かったです。特に美術の展示作品の「みかん」は、自分たちでは、やっていなかったの、とても面白そうだなと思いました。どの作品にも、一人一人の個性があって、その人のことを知らなくても、美術や技術などの作品を通して、繋がりをもてることに、素晴らしさがあると思います。今回の展示の部はとても楽しかったです。もっと長い時間見ていたかったです。



### 2年4組

1年生の作品は、どれも「本当に一年生が作ったの?」と思える作品が沢山ありました。皆、発想が豊かでユーモアあふれていて、見ていてとて

も楽しかったです。

2年生の作品は、去年の学芸発表会展示の部に出展した作品のときよりも、更にレベルが上がっていて、皆この一年間で成長したんだと感じることが出来ました。

3年生の作品は、「さすが3年生」と思わせてくれる作品が沢山あり、どれも圧巻でした。そして、本当に絵と字が上手でセンスの塊みたいな人が多くいるんだなと思いました。他にも、美術部や鉄道研究会、ソーイング部が作品を展示していましたが、どれも「部活動でやっているだけあるな」と納得するような作品ばかりで、すごいなと思いました。

### 2年2組

作品をつくるのは大変でしたが、今日、クラスの子が「作品よかったよ。」と言ってくれてとてもうれしかったです。また、いろいろな作品を見て楽しかったです。とくに、2年生のスタンドライトは、ライトの形から、自分がつくる作品をイメージするので、それぞれの見方がわかってとても面白かったです。

学芸実行委員など準備の人たちが書いてくれた「食堂」などの表示も一つ一つがかわいくて丁寧ですごいと思いました。準備するためにたくさんの方が頑張っていたので、片付けで役に立てるようにしっかりと仕事をしたいと思いました。

### 1年1組

とても楽しかったです。自分の作品を作り上げる工程もそうですが、見学すると、みんなの個性が面白くて、自分でも思いつかなかったような工夫を発見できたりして楽しかったです。どういう風にこれを作ったのかの工程を想像することが好きなので、そういう面でも楽しかったです。たくさん自分の作品を作ることができてうれしかったです。

### 1年5組

みんな個性豊かで、見ていてとても楽しかったです。じっくり見ていくと、みんな、自分の作品に心を込めて作ったのだなと思って、1位も2位もないと思いました。また、自分のものとは違う発想や表現があって、こういう表し方もあるのだなと気づくことができました。今回の学芸発表会展示の部で、新しい発見があり、いろいろなことを学びました。次の機会には、今回気づいたことを生かしていきたいです。

